

文教厚生委員会会議録（要点筆記）

令和5年9月19日（火）

午後2時00分開会

場所：委員会室

○坂井美穂委員長

ただ今から、文教厚生委員会を開催します。協議題1 行政視察についてを行います。視察地の先進事項について、簡単にご説明させていただきます。

はじめに県内視察です。県内視察は豊明市を予定しています。豊明市については、「ふつうに暮らせるしあわせ」を支える地域包括ケア豊明モデル「けやきいきいきプロジェクト」を推進しており、軽度者（要支援者）の段階で、介護保険サービスと公的保険外サービスを併用することで、活動量を増やし、元の日常生活に戻していくことを標準支援としています。また軽度者を要介護者にしない取組みと環境整備により、ケアマネジャーやヘルパー、訪問看護師などの負担軽減に繋がっています。

次に、県外視察です。生駒市は、豊明市の取組の基になった自治体で、豊明市は生駒市を参考に事業しています。事業の内容は豊明市とほとんど変わりませんが、地域資源も生駒市と豊明市では異なるため、取組にも地域資源が反映されています。

次に人材確保について取組んでいるのが、八王子市と武蔵野市です。八王子市は、事業者の人材確保・定着・育成に係る課題意識が高いことから、第7期介護保険事業計画から、人材確保、定着、育成を重点課題の1つとして位置付け、取組を推進しています。また、施策に対してアウトプット評価指標を設定し、指標の数値推移を観察しながら、細かく事業の見直しを行っているとのことです。また、人材不足の把握については、離職率や事業所の主観的な人材不足感を評価基準とし、事業者アンケートを行うことで、評価をする予定とのことです。さらに、国や東京都の支援制度を有効活用し、事業を実施しているようです。

武蔵野市は、2025年に向けて確保すべき人材数について、推計・公表したことで関係者間で問題意識が共有・喚起されています。介護職員・看護職員等実態調査を継続実施し、調査結果の推移から取組の進捗状況を庁内で検討しています。また、調査結果は庁内外の調整を進めるうえで施策の必要性を示す根拠としても活用されているとのことです。加えて、各課がそれぞれ対象者別に縦割りの人材育成事業を行う中で、横断的に施策を企画・推進する専門部門として、地域包括ケア人材育成センターを開設しています。さらに、各種介護保険サービスごとの事業者連絡会事務局を市が担っており、議論の場に参加することで、意見の吸い上げがスムーズに実施できているとのことです。しばらく休憩します。

休憩 午後2時15分

再開 午後2時27分

○坂井美穂委員長

会議を再開します。今後のスケジュールについてですが、10月3日を目途に、委員の皆様へ質問事項の正副委員長案を送付いたします。10月10日の文教厚生委員会にて質問事項について、正副委員長案を基に完成させますので、ご予定いただきますようお願いいたします。また、榊原瑞輝委員については、10月

26 日から入院される予定で、11 月半ばまでは復帰ができない状況のため、今回の視察は県内視察、県外視察ともに参加できないということで、ご連絡をいただいておりますのでご承知おきください。

○坂井美穂委員長

次に協議第 2、その他を行います。その他、何かあればお願いします。

【「なし」との声あり。】

○坂井美穂委員長

ないようですので、これで文教厚生委員会を終了します。

閉会 午後 2 時 2 9 分